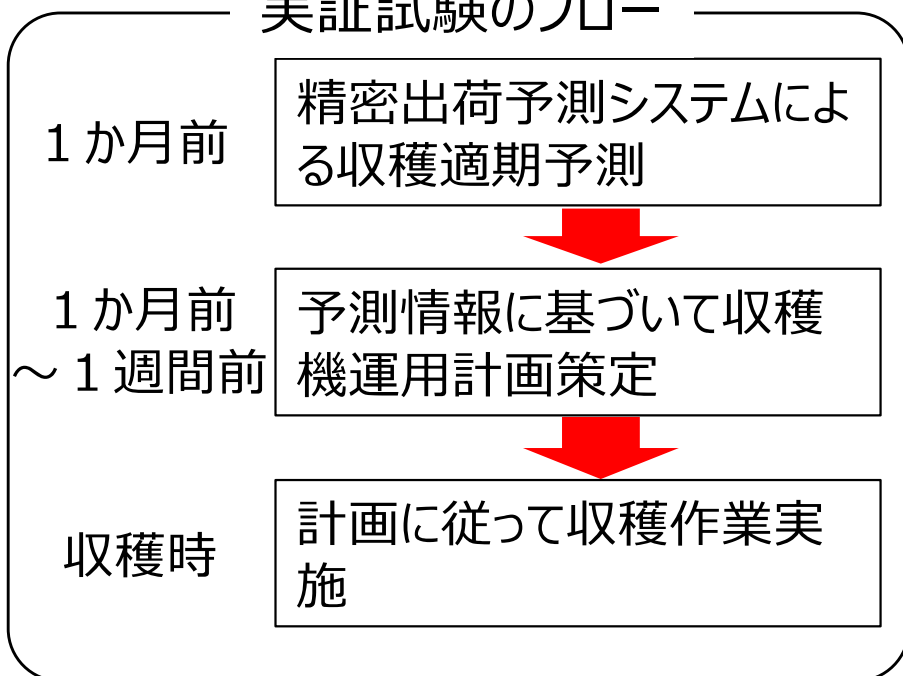


収穫予測の導入効果検証（R2年度）

北海道JA鹿追町にてシステム導入効果を検証

実証試験のフロー



導入効果

項目	システム導入年	システム未導入年(前年)	導入効果(増減率)
単収 (t/ha)	85.6	81.6	5%
粗収益 (万円)	22,256	21,216	5%
経費 (万円)	18,283	17,600	4%
収益 (万円)	3,973	3,616	10%

単収増加要因は適切な収穫計画による
適期に合わせた収穫機運用の実現

収穫予測の導入効果検証（R3年度）

北海道JA鹿追町にてシステム導入効果を検証（7月～8月）

実証試験のフロー

システム導入区 慣行区

3週間前～

**精密出荷予測
システム**の予測
情報に基づいて
収穫計画策定

生育状況から
経験により収穫
計画策定

収穫・検品

収穫実施
収穫コンテナ毎にサンプル抽出検査
褐変症が確認された場合は廃棄

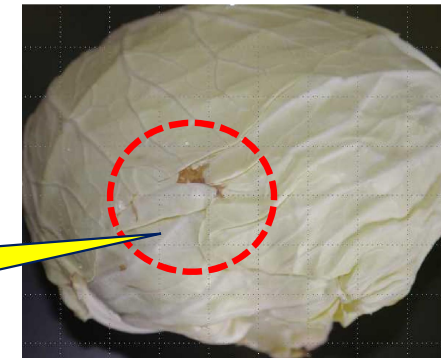
導入効果

項目	システム導入区	慣行区	導入効果 (増減率)
収量 (t/ha)	59.6	59.3	101%
廃棄量 (t/ha)	7.0	20.1	-65%
出荷量 (t/ha)	52.6	39.2	135%
粗収益 (万円/ha)	342	255	134%
経費 (万円/ha)	269	247	109%
収益 (万円/ha)	73	8	901%

適期収穫による圃場廃棄（原因は
褐変症）の低減で収益確保

- 2021年度は褐変症（左写真）による廃棄が多発
- 褐変症は収穫適期葉齢を過ぎると発生が増える傾向
- 適期収穫できたシステム導入区は褐変症による廃棄量が大きく減少

褐変症：加工業務用の重要クレーム対象で、1球でも発見されると当該圃場のその日の収穫物全量が廃棄となる。



農研機構からWAGRIを介して露地野菜の生育予測情報を提供します

サービスベンダー様

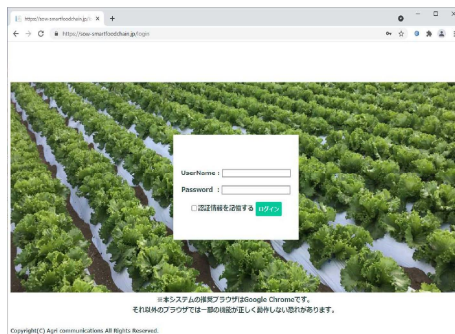
農研機構から生育予測のWAGRI-APIを提供します（WAGRI利用会員登録およびAPI利用契約が必要です）。

生育量日別値など基本情報のみの提供のため、独自のインターフェイス開発が必要です。

詳細はお問い合わせください。

生産、流通の関係者様

コンソーシアム参画企業が開発したシステムが利用できます（一定の試用期間の後に利用契約が必要です）。



イーサポートリンク
（株）開発システム

ご清聴ありがとうございました。

謝辞

本取り組みは、戦略的イノベーションプログラム（SIP）「スマートバイオ産業・農業基盤技術」（管理法人：生研支援センター）により実施されました。ここに感謝の意を表します。